



2024年5月号

Vol. 225

arch-tsushin

あーち通信

Message
from U.S.A.~

日本へ旅行に行く人が増えていますね。私の生徒さんも、かなりの人が今年日本に行きたいと言っていました。そこで、過去の訪日外国人への『日本に来て困ったことは何か』と言うアンケートを見てみると、「施設等でのスタッフとのコミュニケーション」が1位でした。スマホで翻訳機能があっても、生の会話がいいのかもしれませんが。もし困っている訪日外国人を見かけたら、「何かお手伝いしましょうか。」「Do you need any help?」と聞いてあげると相手は嬉しいと思います。私は、昔、モスクワの地下鉄で乗り換え案内をみていたら、現地の人と話しかけてくれ、手伝ってくれたことを今でも覚えています。知らない土地に来て、優しくしてもらった思い出は、こうして残るものなんですね。こんな風に誰かの旅の思い出に入り込むのも素敵なことだと思います。

「ぼくのくれよん」

作・絵:長新太

講談社 1993年4月発行

表紙の絵から、小さな男の子がくれよんでお絵描きすると...

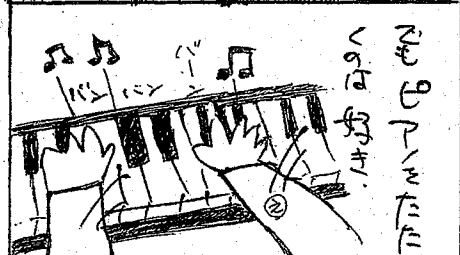


みたいなお話かな?と想像していましたが、なんと、これはぞうのくれよんでした。1本が猫ぐらいの大きさです。もうここから面白いのですが、続くページは、作者の長新太さんが子どものような柔軟な発想と現実的なおとなの目線を自由自在に操り、紙の上で遊んでいるかのようです。例えば、きいろのくれよんでかいたおおきなばなな(?)は、「みんなでたべました。」ではなく、「たべられません。」だって、くれよんでかいたから。このポンっと放っておかれるような感覚が、独特の乾いた面白さを感じさせます。最後のページで、くれよんをもってかけだしていくのは、長新太さんなのかもしれません。

(あーちスタッフ 山名)

えんじえる君II by Bon

楽みお113113③

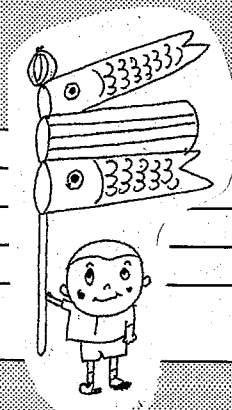


神戸大学大学院サテライト施設「のびやかスペース あーち」
〒657-0832 神戸市灘区岸地通 1-1-1 灘区民ホール 3 階
TEL&FAX 078-805-6090
HP <http://www2.kobe-u.ac.jp/~zda/arch-prep.html>
開館日 火~土曜日(月曜、日・祝除く)

神戸大学大学院人間発達環境学研究科
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11
TEL 078-803-7970
FAX 078-803-7971

5月予定表

		こらぼ・あーち	ふらっと・あーち
1	水		
2	木		
3	金		
4	土		
5	日		
6	月		
7	火	あーち人形劇団「むー」(練習) 14:00~16:00	
8	水		
9	木		健康あーち(相談)午前中
10	金	よる・あーち 17:00~19:20	
11	土	おはなしの国 11:00~11:30 ぽっとらっく(要予約) 13:30~16:00	
12	日		
13	月		
14	火		
15	水		保健師さんとお話しましょう 10:30~11:30
16	木		
17	金	よる・あーち 17:00~19:20	リフレッシュYOGA 10:45~11:45 ※下記参照
18	土	プラレール広場 10:30~16:00	あらかると音楽遊び 14:30~15:00
19	日		
20	月		
21	火	あーち人形劇団「むー」(練習) 14:00~16:00 パパママほっと 10:30~12:00 (ゆーす・あーち)	
22	水	月イチwith 10:30~12:00	ベビーマッサージ 11:00~12:00 ※下記参照
23	木		
24	金	よる・あーち 17:00~19:20	
25	土	おもちゃ病院 13:30~15:30	
26	日		
27	月		
28	火		
29	水		ベビーマッサージ 11:00~12:00 ※下記参照
30	木		
31	金		



- ・プログラムは自由に参加・見学ができます。年齢制限はありません。また、都合により変更することがあります。
- ・ふらっと・あーちでプログラムが行なわれている間、プログラムに参加されない方もふらっとを利用できますが、遊べるスペースが狭くなります。どうぞご了承ください。

※ベビーマッサージに参加される方は、バスタオルを1枚お持ちください。また、初めてあーちを利用される方は受付に10分ほどかかりますので、10:45ごろにご来館ください。

※リフレッシュYOGAに参加される方は、ヨガマットやバスタオルなどの敷物を1枚お持ちください。

<あーち利用のご案内>

- 利用時間** 火~土10:30~16:00 (ランチタイム 12:00~12:45)
 ※ランチタイムの間は、おもちゃで遊ぶことはできません。
 金曜日のみ 17:00~19:20 よる・あーち(居場所づくり・学習支援・子ども食堂)
- 注意事項** オムツやゴミは各自でお持ち帰りください。灘区民ホール内では捨てられません。
 託児は行っていません。安全のため、お子さんの見守りをお願いします。

<プログラムのご案内>

- ★あーち人形劇団「むー」…あーちに來ているみなさんと、一緒に楽しく人形劇遊びをしませんか？それぞれ自分の好きなこと、できることを持ち寄って気軽に参加してください。
- ★あらかると音楽あそび…手作り紙芝居や大型絵本に、おもしろい音や音楽を合わせた楽しい音楽遊びです。
- ★おはなしの国…ろうそくが灯ったらおはなしの世界のはじまりです。(絵本の読み聞かせ)
- ★おもちゃ病院…ドクターが壊れたおもちゃを治します。(当日の修理はできません。)
 - ※おもちゃ病院の情報は Facebook 神戸・灘おもちゃの病院 でご覧ください。
- ★健康あーち(相談)…大学教員(公認心理士)が「ふらっと」でみなさんと交流します。日頃のモヤモヤする気持ちや健康にまつわることなど、ゆっくりお話ししましょう。
- ★月イチwith…参加者それぞれの困りごと悩みごとについて語り合い、お互いに元気を分かち合いましょう
- ★パパママほっと…ASD(自閉症スペクトラム、アスペルガー)またはその傾向のあるお子さんの保護者の集いです。悩みを分かち合い、情報交換を行うピアカウンセリングの場です。
- ★プラレール広場…広いマットの上で自由に電車遊びができます。(係員は不在です。)
- ★ベビーマッサージ…赤ちゃんをやさしくマッサージしながら、親子でふれあいの時間を楽しみましょう。
- ★保健師さんとお話ししましょう…保健師が月1回、健康に関するお話をします。個別のご相談もどうぞ。
- ★ぽつとらっく(要予約)…発達が気になる子どもと保護者のための教室。保護者が講習会やグループトークに参加している間、お子さんはボランティアによる託児プログラムに参加できます。
- ★よる・あーち…「居場所づくり」「学習支援」「子ども食堂」を一緒にしたプログラム。いろいろな年齢の参加者が交流し、学びあっています。
- ★リフレッシュYOGA…肩こり・腰痛を軽くするポーズを中心にした、自宅でも簡単にできるYOGAです。

クロスボーダー

～あーちで活動する学生たちの体験レポート～

4. よる・あーちに関わって 輪玉芳野

よる・あーちに関わって、もうすぐ1年が経とうとしています。

はじめて活動に参加したときは、どうみんなと関わったらよいのか戸惑うこともありましたが、あーち合宿に参加したことによって、みんなとの距離が一段と深まったように思います。あーち合宿では、日々のあーちの活動ではあまり関わることはできていなかった方々ともたくさん交流することができました。また、普段とは違う活動をするなかで、あーちのみんなの今まで見えていなかった一面がたくさん見えた気がしました。

あーち合宿を経たからというもの、「よっちゃん！」という風に声をかけてくれたり、「来週のあーちもきてね」と伝えてくれたりする方々がいて、あーちが私にとっても自分が自分らしくいられる「居場所」になっているように思います。これからも活動に参加しながら、みんなと楽しいことをたくさんしていきたいです！

よる・あーちに参加している学生の体験レポートを、リレー形式でご紹介します。お楽しみに。

<ふらっと相談員> ～お気軽にお声がけください～

水曜 午前 保健師・保育士

水曜・木曜・土曜(不定期) 助産師



☎お電話でも相談できます

第37話「世界が広がる」

お店は買い物をするところ。学校は学ぶところ。公園は遊ぶところ。じゃあ、あーちは何のための場所なんだろう？

次男は小学校の数年間、学校へ行けなくなりました。読み書き計算的な勉強は、次男にとっても私にとっても最優先項目ではなく、できたらラッキー程度の感覚でした。それなのに、どうしても学校へ行って欲しいとジリジリした思いに囚われ大いに慌てふためき、焦りまくった私がいまして。だって…学校へいかないと、世界が広がらないでしょ。

長男の送迎生活が終わったのを機に、自宅内の長男のスペースを模様替えしました。絵本が読みやすくなるように、絵を描く道具が手に取りやすいように。この小さなスペースで、彼の世界が広がっていくようにと願いながら。

そしてふと思う。「世界が広がる」とは何のことなんだろう?? (何のことかわかってないのに、そういった言葉が脳内に浮かんでくるのも随分不思議な現象ですね)

うまれたばかりの赤ちゃん。目が見えるようになり、首がすわるようになり、どんどん世界を広げていく。アレはなんだろう?と対象に近づく。触る。遊ぶ。止まらない探究活動。興味や好奇心(時々怖いもの見たさ)にしたがって、活動範囲を広げ、刺激を受け、何かを、何らかの形で理解をする。その形は人それぞれで、数値やテストだけで測れるようなものではなくて。きっと、「個性」とか、「その人らしさ」とか、そういったものに繋がっていくのだとしたら。それが「世界を広げる」ということなのなら。いつもと違う人やモノに出会える場所は、とても大切だと思います。

私にとって、次男が学校へ行けないことが不安だったのは、次男の世界の広がりが停滞することだったんですね。極端かもしれないけれど、世界が広がるのであれば学校じゃなくっていいと思っていました。

た。むしろ、過度に緊張して通学するのは、世界を狭める気がして、行かない方が良いかもよ、くらいに思っていました。

読み書きはできなくても、絵を眺めて、想像を広げていくことで、心がワクワク動くキッカケになればいい。この世界には色んな人がいて、色んな喜びや悲しみがあって、色んな出来事があることを知る、感じる。そうして世界を広げて欲しい。

その為に、家の外に出てほしいのです。絵本に触れて欲しいのです。

あーちのような「居場所」といわれる施設は、何のためにあるんだろう？

人と人が繋がる場所。生きづらさを抱える人達にとってのセーフティーネット。生きがいを見つける場所。いろんな意義と理由が挙げられるのだろうけど、我が息子たちにとっては、「世界を広げる」場所という意義を追加したいと思います。そして、世界を広げる為の好奇心を湧かせるためには、いつもと同じ人がいる安心感と、いつもいない人や異なった活動があることのバランスが肝になるんだろうな、きっと。

語彙が増えたな。会話のやり取りが上手くなったな。手先が器用になったな。不安を抱えることが減ってきたな。

目に見える成長の下には、目に見えない心の動きや、名前のつかない体験の積み重ねがあって、植物の種が発芽し、育っていくように、自然な現象の一つのように思えます。

通うようになって、6年目。色んな学生さんや大人達に見守られて、音楽を聴いたり、工作したり。ただただ、おしゃべりをしたり、おにごっこをしたり。気ままさが許される場所で、「目の前のあなたを信頼します」。そこから世界は広がり始めるのです。

